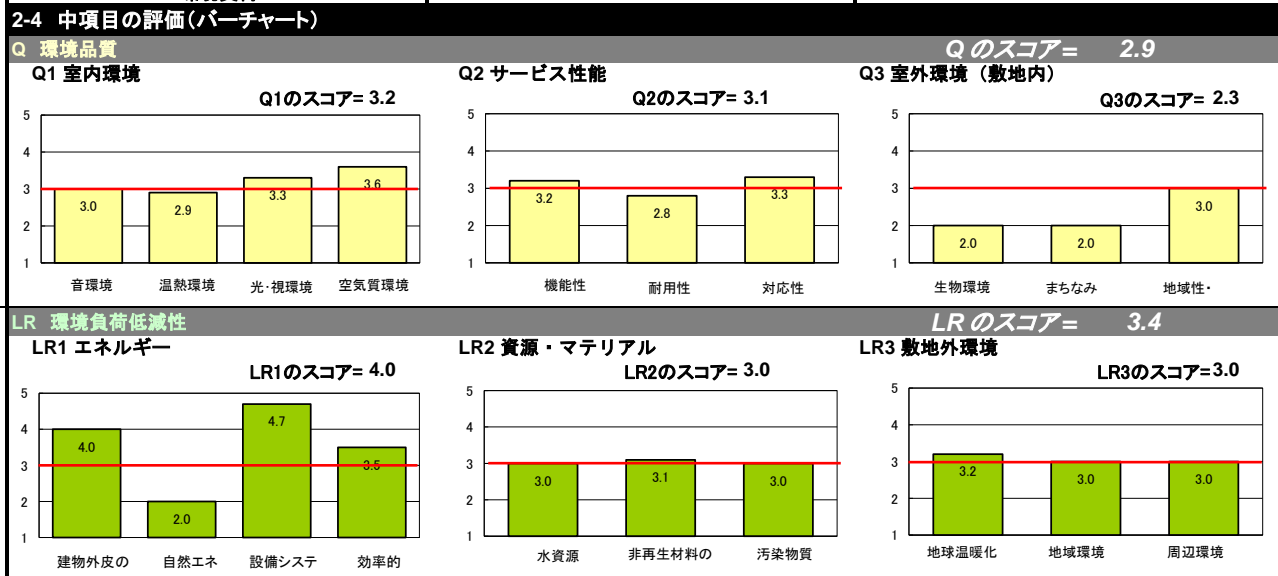
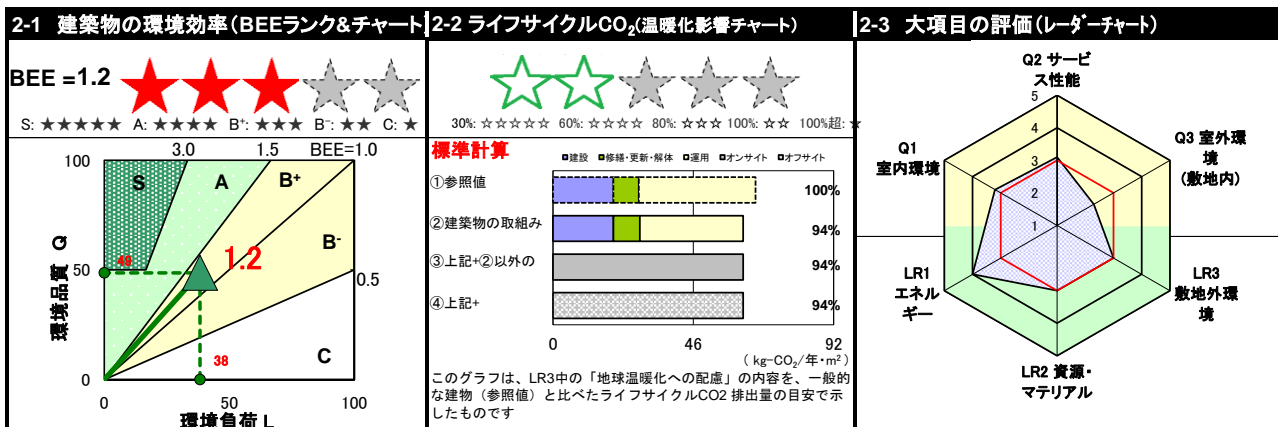


1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	THE TOWER 湘南辻堂	階数	地上29F
建設地	藤沢市辻堂1丁目1589-1,3~34,1590-1,9,11,12(計37筆)	構造	RC造
用途地域	商業地域、防火地域	平均居住人員	490 人
地域区分	7地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	物販店、飲食店、集合住宅、等	評価の段階	竣工段階評価
竣工年	2025年11月 予定	評価の実施日	2022年3月15日
敷地面積	2,312 m ²	作成者	(株)フィールド・デザイン・アーキテツク 建築士事務所
建築面積	1,290 m ²	確認日	
延床面積	24,693 m ²	確認者	



3 設計上の配慮事項		
総合	辻堂駅から徒歩3分の、商業地域にRC造29Fの複合用途の共同住宅(1R~ム及び1LDK~3LDK合計196戸)を計画した。	その他 特になし。
Q1 室内環境	日本住宅性能表示基準「5-1断熱等性能等級」における等級4相当である。	Q2 サービス性能 Gbitクラスを採用、高度情報通信設備対応としている。
Q3 室外環境(敷地内)		特になし。
LR1 エネルギー	LED照明設備を導入している。	LR2 資源・マテリアル 壁・天井共にLGS下地を採用し、再利用可能向上への取組に配慮した。
LR3 敷地外環境		適切な量の駐輪場、駐車場を確保、荷捌き用車両の駐車施設も確保し、交通負荷制御に配慮した。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)

■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと

■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される